## TCK12010006202.pdf (0 - 5 m) 1/1 ページ

## ボーリング柱状図

					調 査 名															ボー	リンク	rNO.		$\top$	П							
						<u>業・</u>	Ι	事名	3														_	- シートNO.								
ボ	<b>-</b> リ	ング	名	No.7					調査位置												北紅	編 36°20′			15.00	000 "						
発	注	機	関	栃木県	足利土木	事務	斩								調査期間 2008-07-24 ~ 2008-07-25											東	経 139°28′0			02.00	000 "	
調	查第	* 者	名						主任技師						理 /	場人	コア								ボーリン グ責任者							
孔	孔口標高			38.66 n	n 角	180° 上	79	n. 7		地盤勾配 鉛直	水平	0°	使用	試	錐	機								ハンラ 落下月								
総掘進長			長	4.00 m	度	下	ナ		」 西 ▼ ▼ ▼ ▼		$\bigcup$		機種	I.	ンジ	ン								ポン								
0°▼ 0.00°   180° 南.00° 與 90° 0.00° 程																																
標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	記		孔内				ħ	票	準	貫	λ	試	験			Į.	原位置試験		試	料採	靫	室	掘
		厚	度	状	質		対対					深		mご。 撃回数		打擊回							深			験 名 び結果	深	試	採	内	進	
尺	高				X		密	稠			層岩体区分	位 (m)	度		10	$\Box$	回数								度	0) &		度	料		試	月
				図	分	調	度	度	事			測		1	10	20	貫												番	方	験	日日
									_			定月		10	20	30	量			ı	۱ 	————————————————————————————————————							号	法		
(m)	(m)		1 .	^^^^^	崖錐堆積	本場	緩		礫径10~70mmの角礫が	<b>主体</b>		日	(m)				(cm)	0	10	)	20	30	40	50	(m)			(m)	L	<u> </u>		
-	38.36	0.30	0.30		170 (TI)		を	充填物は粘性土が主体。 。																							-	
-1					風化岩 (WR)	黄			崖錐堆積物。 全体に、風化がやや激し 亀裂が多い。	く、開口	1		1.00	50_0			50	>50														
						褐			亀裂面は概ね褐色の酸化 されている。 岩質自体はやや軟質化し				1.00																			-
: -2	36.76	1.60	1.90		中硬岩		非		記岩主体。CL級主体。 黒色の砂岩と泥岩の互層		-		2.00	50_0			50	>50														
					(MR)		常に密		面の傾斜は約45度である 硬質であるが、泥岩は属 干粘土化して軟質である	化して若			2.00																			
-3						黒灰	な		特にGL-2.6m付近の泥岩 土化している。亀裂は開 赤紫色の酸化鉄で汚染さ	は白色粘口状で、																						07/24
									コアは短柱状~岩片状主 RQDは0%。最大コア長度CM48年体	体。																						